

第2章

将来像の実現に向けて

2-1 まちづくりの体系

● 7分野・42施策に区分し、総合的なまちづくりを推進する

本市におけるまちづくりの基本理念に基づく将来像の実現に向けて、7つの分野別政策に対して42の施策区分を設定し、総合的なまちづくりを推進します。

【第2次能美市総合計画の施策体系】

<①暮らし・魅力分野>

市民力・地域力を高め、魅力を創造する能美づくり

- 1-1. 市民力・地域力の向上
- 1-2. 暮らしの質の向上
- 1-3. 移住・定住の促進
- 1-4. 若者のライフデザインの支援
- 1-5. 大学との連携
- 1-6. 観光と交流の推進
- 1-7. プロモーションによるブランド化の推進
- 1-8. 国際交流の推進

<②健康・福祉分野>

健康に、幸せな人生を送ることができる能美づくり

- 2-1. 地域医療の推進
- 2-2. 支え合いの地域づくり
- 2-3. 高齢者福祉の充実
- 2-4. 障がいのある人の福祉の充実
- 2-5. 少子化対策・子育て支援の充実
- 2-6. 健康づくりの推進
- 2-7. 公的保険制度の運営

<③教育・文化・スポーツ分野>

心身を磨き上げ、人の絆と感性を育む能美づくり

- 3-1. 学校教育の充実
- 3-2. 青少年の健全育成
- 3-3. 生涯学習の推進
- 3-4. 芸術・文化の振興
- 3-5. スポーツの振興

<④産業・雇用分野>

基盤産業と地域産業がともに躍動する能美づくり

- 4-1. 農業・農村の振興
- 4-2. 林業・山村の振興
- 4-3. 商業の振興
- 4-4. 工業の振興
- 4-5. 産学官金連携・創業支援の推進
- 4-6. 九谷の里づくり
- 4-7. 労働環境の充実

<⑤居住環境分野>

安全に、安心して住み続けられる能美づくり

- 5-1. 居住環境の充実
- 5-2. 適正な土地利用の推進
- 5-3. 道路の維持・整備
- 5-4. 公共交通の充実
- 5-5. 水道・下水道の維持・整備
- 5-6. 防犯・交通安全の充実
- 5-7. 消防・防災体制の強化
- 5-8. 消費生活の向上

<⑥歴史・自然分野>

自然を守り、歴史と伝統を尊ぶ能美づくり

- 6-1. 歴史・文化・伝統の継承
- 6-2. 里山・自然環境の保全と活用
- 6-3. 水環境の保全と活用
- 6-4. 循環型社会と環境美化の推進

<⑦行財政分野>

健全で持続可能な行財政を営む能美づくり

- 7-1. 市民目線による行政運営
- 7-2. 健全な財政運営
- 7-3. 情報化社会への対応

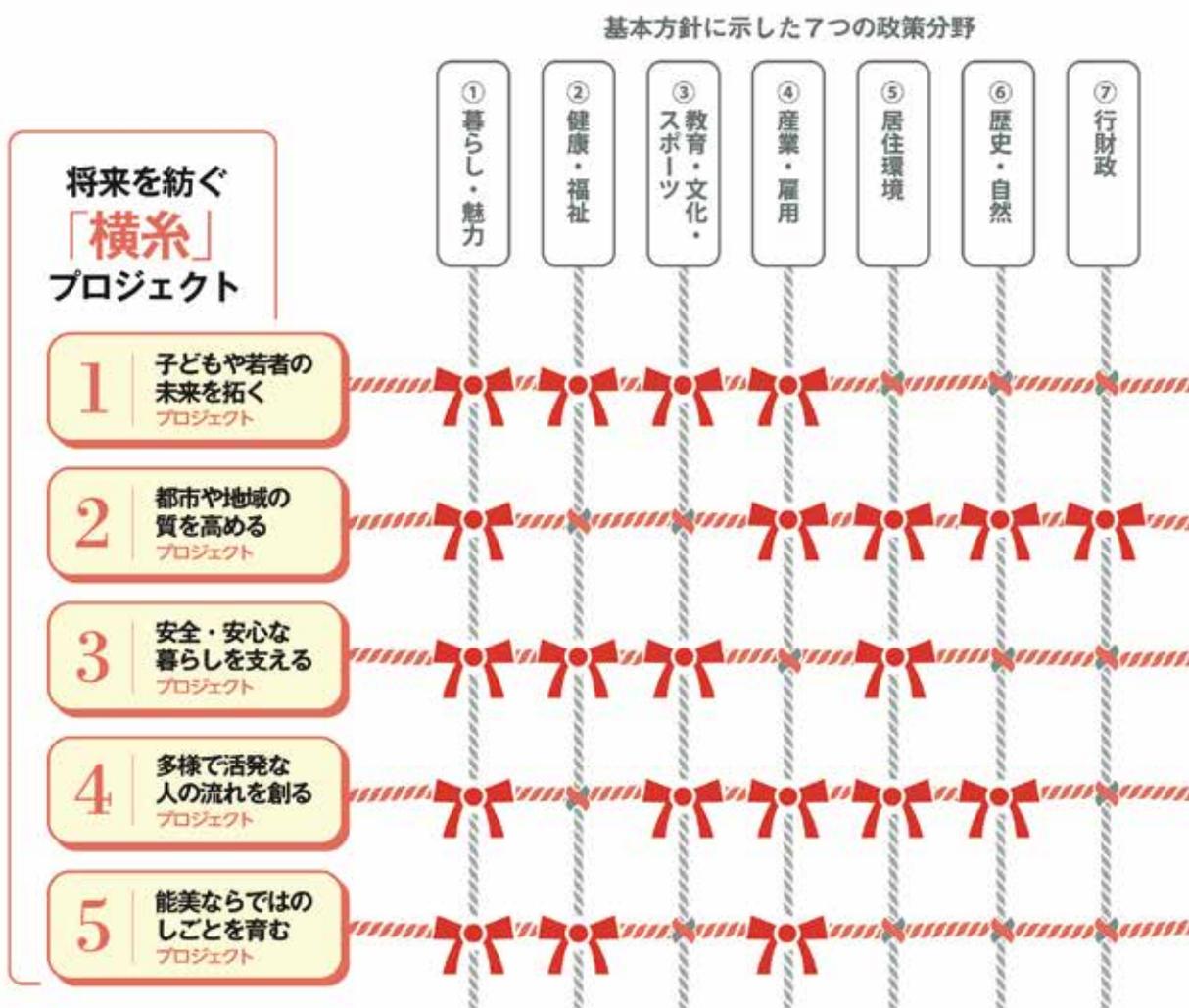
2-2 将来を紡ぐ「横糸」プロジェクト

● 多様化・複雑化するまちづくり課題への対応に向けて

人口減少や少子高齢化の進行、世界的な社会経済情勢の変化、ICTの飛躍的進展、突発的で大規模な自然災害の多発など、まちづくりに関する課題が多様化・複雑化する中、1つの分野単位では解決できない課題が多く存在しています。

本構想で位置づけた7つの政策分野を「縦糸」（行政目線での専門的な取り組み）とすると、それらを有機的に結び合わせ、複数分野の施策の相乗効果を生むためのプロジェクトを「横糸」（市民目線で重視すべき取り組み）とし、分野横断的な取り組みを市民と行政の協働のもとで積極的に展開することにより、将来像である「市民が躍動し、地域が輝く 能き美しきまちづくり～暮らしやすさを日本一、実感できるまち～」の実現を目指します。

【 分野別政策をつなぎ、将来を紡ぐ「横糸」プロジェクト 】



1 子どもや若者の未来を拓く プロジェクト

本市では、子育て支援や学校教育の充実、青少年の健全育成などの取り組みを展開するとともに、企業誘致や創業支援などの産業振興を図ることにより、住み良さランキングでも全国上位となるなど、特に子育て世代から「選ばれるまち」として成長を遂げてきています。

一方、将来人口推計の結果では、人口減少や少子高齢化の進行は避けられず、未来の能美市を担う人材をいかに育成・確保していくかが重要な課題となっています。そのためには、子どもを産み育てやすく働きやすい環境をはじめ、子どもや若者が夢を抱き、様々なチャレンジによる体験を重ね、ふるさとを愛する心をもっていきいきと成長できる環境がなければなりません。

このことから、子育て支援などの取り組みをより一層充実するとともに、子どもや若者が生涯にわたって学び、出会い、働き、世界的な視野と新しい発想をもって活躍できる未来を拓くための施策を推進します。

▼関連する主な施策区分

①暮らし・魅力

- 1-4. 若者のライフデザインの支援
- 1-5. 大学との連携

②健康・福祉

- 2-5. 少子化対策・子育て支援の充実

③教育・文化・スポーツ

- 3-1. 学校教育の充実
- 3-2. 青少年の健全育成
- 3-5. スポーツの振興

④産業・雇用

- 4-5. 産学官金連携・創業支援の推進
- 4-7. 労働環境の充実

子育てしやすい
環境づくり



若者の創業支援
の推進



若者の出会いの
場づくり



大学との連携に
よる人材育成



ジュニアスポーツ
の充実・強化



2 都市や地域の質を高める プロジェクト

本市では、第1次総合計画の基本理念に掲げた市民力・地域力の向上に資する各種施策をはじめ、独自条例に基づく適正な土地利用の誘導、公園・緑地や上下水道などの社会基盤の整備、歴史・文化・伝統の継承や自然環境の保全、そして行財政改革による市民サービスの向上に努めてきています。

一方、将来的な人口減少が予測される中、成長・拡大を前提とした「量的な充実」の時代は終わり、これまでに整備してきた社会基盤や本市固有の地域資源を活かしながら、ハード・ソフトの両面からの「質的な充実」が求められる時代へと変化してきています。まさに「集約」と「活性化」が質的向上のポイントとなります。

このことから、地方都市として「質」の源泉となる市民力・地域力の向上を図るための施策をより一層推進していくとともに、本市の核となる顔づくりや中心市街地・駅前の活性化、道路網の充実、土地利用制度に基づく良好な居住環境の充実、里山などの自然環境の保全、歴史・文化・伝統の継承、行政サービスの充実や財政面での改善などを行うことにより、地方都市としての質の向上を目指します。

▼関連する主な施策区分

- ①暮らし・魅力
 - 1-1. 市民力・地域力の向上
 - 1-2. 暮らしの質の向上
- ④産業・雇用
 - 4-3. 商業の振興
- ⑤居住環境
 - 5-1. 居住環境の充実
 - 5-2. 適正な土地利用の推進
 - 5-3. 道路の維持・整備
 - 5-5. 水道・下水道の維持・整備
- ⑥歴史・自然
 - 6-1. 歴史・文化・伝統の継承
 - 6-2. 里山・自然環境の保全と活用
 - 6-3. 水環境の保全と活用
 - 6-4. 循環型社会と環境美化の推進
- ⑦行財政
 - 7-1. 市民目線による行政運営
 - 7-2. 健全な財政運営
 - 7-3. 情報化社会への対応

本市の核となる
顔づくり



能美根上スマート IC 整備など道
路網の強化



完成イメージ

中心市街地や駅
前の魅力アップ



中山間地域の
維持・活性化



古墳などの歴史
・伝統の継承



3 安全・安心な暮らしを支えるプロジェクト

本市では、市立病院と芳珠記念病院が救急医療機関となっているほか、地域医療・介護・福祉を支える人たちによるサービス提供、ボランティアなどによる地域福祉活動が盛んに行われており、公的保険制度の運営と合わせて市民の健やかな暮らしを支えています。また、防災センターの整備や自主防災組織の設立支援など、市民の安全・安心な暮らしの確保に努めてきています。

一方、超高齢社会の到来、家族のあり方や地域社会の変容から、高齢者、障がいのある人、児童などの福祉に関するニーズの多様化・複雑化が進行しており、将来的に人口減少が予測される中で、あらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、福祉サービスを総合的に提供できる仕組みづくりが求められています。

このことから、全世代・全対象型の地域包括支援体制を構築し、より良い暮らしを支える地域単位での医療・福祉・生涯学習の充実、ウォーキングなどによる健康づくりの推進、市民の足となる地域公共交通の確保、防犯・防災対策の強化などを図ることで、誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で、自分らしく活躍し、安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指します。

▼関連する主な施策区分

①暮らし・魅力

1-2. 暮らしの質の向上

②健康・福祉

2-1. 地域医療の推進

2-2. 支え合いの地域づくり

2-3. 高齢者福祉の充実

2-4. 障がいのある人の福祉の充実

2-6. 健康づくりの推進

2-7. 公的保険制度の運営

③教育・文化・スポーツ

3-3. 生涯学習の推進

3-5. スポーツの振興

⑤居住環境

5-4. 公共交通の充実

5-6. 防犯・交通安全の充実

5-7. 消防・防災体制の強化

5-8. 消費生活の向上

地域包括ケアの
推進



ウォーキングによる
健康づくり



市立病院などの
地域医療の充実



消防・防災体制
の充実・強化



移動を支える
公共交通の充実



4 多様で活発な人の流れを創る プロジェクト

本市では、観光ビジョンやそのアクションプランを策定し、九谷陶芸村や辰口温泉などの観光資源の活用、「ウルトラアート」や文化祭など市民参画型の芸術・文化の振興、国際交流などを通じた交流人口の拡大を図っています。また、住宅地の整備促進や空き家の利活用などによる移住・定住の促進などに取り組んでいます。

一方、東京オリンピック・パラリンピックを契機とするインバウンド観光の増加や、北陸新幹線の金沢開業と福井方面への延伸など、本市をとりまく人の流れの変化が予測される中、本市固有の地域資源を活かした観光振興や移住・定住の促進を図り、地方都市としてのブランド力を高めていくことが求められます。

このことから、九谷焼を活かしたブランディングをはじめ、地域密着型の新たなイベントによる交流の活性化、いしかわ動物園や辰口温泉、海山川の豊かな自然環境などの観光資源の活用を図り、本市のブランド力を強化します。併せて、観光から移住・定住につながるための環境整備、北陸先端大留学生や姉妹都市・姉妹校との国際交流を推進することにより、新しい人の流れの創造を目指します。

▼関連する主な施策区分

- ①暮らし・魅力
 - 1-3. 移住・定住の促進
 - 1-6. 観光と交流の推進
 - 1-7. プロモーションによるブランド化の推進
 - 1-8. 国際交流の推進
- ③教育・文化・スポーツ
 - 3-4. 芸術・文化の振興
- ④産業・雇用
 - 4-6. 九谷の里づくり
- ⑤居住環境
 - 5-4. 公共交通の充実
- ⑥歴史・自然
 - 6-1. 歴史・文化・伝統の継承
 - 6-2. 里山・自然環境の保全と活用

新たなイベント
による交流促進



移住・定住を支
える環境の整備



動物園などの観
光資源の活用



九谷焼による
ブランディング



九谷焼とウルトラマンがコラボした
「九谷焼ウルトラマンシリーズ」

多文化共生・
国際交流の推進



5 能美ならではのしごとを育む プロジェクト

本市は、工業団地の整備や企業誘致活動を積極的に推進するとともに、九谷焼産業の活性化やワークインレジデンス制度の創設、農林業への支援、北陸先端大の存在を活かした産学官連携、インキュベーション施設を活かした創業支援などに取り組むことにより、「ものづくりのまち」として発展してきました。

一方、人口減少や少子高齢化の影響は人材不足という形で徐々に顕在化してきており、九谷焼や農林業といった伝統産業・地域産業における後継者の不足、医療・福祉・買物などの地域サービスを支える人材の不足に対して、いかに地域内経済循環を促し、地域に必要な仕事を創り出していけるかが課題となっています。

このことから、新たな企業の誘致とニッチトップ企業などの既存企業の留置により製造業をはじめとする基盤産業の活性化を図るとともに、九谷焼産業を支える人材の育成、農林業の6次産業化、商工会やNPOなどによるまちづくり事業の展開、北陸先端大を核とした産学官金連携などの施策を総合的・複合的に展開することにより、本市ならではの多彩な仕事の創造を目指します。

▼関連する主な施策区分

①暮らし・魅力

- 1-1. 市民力・地域力の向上
- 1-2. 暮らしの質の向上
- 1-3. 移住・定住の促進
- 1-4. 若者のライフデザインの支援
- 1-5. 大学との連携
- 1-6. 観光と交流の推進

②健康・福祉

- 2-1. 地域医療の推進
- 2-2. 支え合いの地域づくり
- 2-3. 高齢者福祉の充実
- 2-4. 障がいのある人の福祉の充実

④産業・雇用

- 4-1. 農業・農村の振興
- 4-2. 林業・山村の振興
- 4-3. 商業の振興
- 4-4. 工業の振興
- 4-5. 産学官金連携・創業支援の推進
- 4-6. 九谷の里づくり

NPOによる
まちづくり事業



九谷焼を活かした
仕事づくり



北陸先端大主催
のマッチングハ
ブ



企業誘致・企業
留置の推進



中山間地域など
への移動販売

